

仕様書

1 件名

東京都立産業技術大学院大学 教育 DX 事業におけるコラボレーションシステム及び教室 AV システムの購入

2 契約期間

契約締結日の翌日から令和 3 年 12 月 28 日（火）まで

3 履行場所

東京都品川区東大井一丁目 1 0 番 4 0 号

東京都立産業技術大学院大学（品川シーサイドキャンパス）

137PBL 演習室、156 演習室、286 演習室、351a 講義室、354 講義室、357 講義室

4 機器仕様及び数量

機器詳細は「別紙 1_詳細仕様書」のとおり

5 支払い方法

履行確認の検査終了後、適法な支払請求書を提出した日から 6 0 日以内に支払う。

6 設定・設置等

(1) 機器について

保証書を添付すること。

(2) 設定・設置について

設定、設置にあたっては、以下の通りとすること。

(ア) 契約締結後、別添の「時間割」及び「学年暦」を基に、搬入から設置、動作確認に至るまでのスケジュールを速やかに作成するとともに、作業人員にかかる作業計画書を作成し、事前に本学担当者の承認を得ること。なお、現場での作業時間は、平日の 9 時から 17 時までを原則とする。

(イ) 契約締結後、現在の本学の AV システム等の運用や操作方法、操作画面の UI、録画した授業動画を速やかに把握し、本学担当者と協議の上、現在の AV システム等と使用感に大幅な乖離のないようにシステムを構築すること。

(ウ) 機器に関する設定は実際の使用環境で試行し、動作確認を行うこと。

(エ) 動作確認が完了した機器類を別紙 1「詳細仕様書」、別紙 2「レイアウト図」及び別紙 3「システム概要図」に従って設置すること。

また、本学担当者および現保守業者と調整の上、学内ネットワーク及び学内 PC に接続するための設計を行い、接続試験を実施すること。

(オ) 全ての機器について、搬入、据付、配線、接続及び調整を行い、必要な設定を完了し、全体が適正に動作することを確認したうえで引き渡すこと。

(カ) 導入する全ての機器について、本学が指定する情報（購入時期、予算等）を表

示したシール（テプラ等）を貼付すること。

- (キ) 機器に関する接続、設定を実施した結果については、設置作業及び動作確認の試験成績表を作成し提出すること。
 - (ク) 動作確認は、本学の担当者が立会いのもと実施すること。
 - (ケ) 納品時は十分に安全に配慮し、怪我のないよう行うこと。また、建物、設備を傷つけないよう特に配慮すること。万一損害を生じた場合は、受託者の負担により原状に復旧すること。
 - (コ) 設置にあたっては、地震等の災害時に対する安全対策（転倒防止等）に万全の処置を講ずること。
- (3) 新規に敷設するケーブルについては、敷設後品質検査を行い、接続先機器・フロア・部屋名等ラベル表示を行うこと。
- (4) 機能発揮及び設置に必要な消耗品を含むこと。
- (5) 機器搬入時に生じる梱包材等は持ち帰ること。
- (6) 搬入及び機器の設置・調整等本件に係る一切の経費は受託者の負担とする。
- (7) 受託者は、本機材設置を完了し、次に掲げる図書を CD-ROM に格納して 2 部提出し検査を受けること。
- (ア) コラボレーションシステム及び教室 AV システムの設計書(システム系統図、設置図面、配線系統図、スイッチポート表、パラメータシート)
 - (イ) 納品物一覧
 - (ウ) 試験成績表
 - (エ) 施工写真
 - (オ) 製品マニュアル
 - (カ) 運用マニュアル
 - (キ) 機器故障時間合せ先一覧

7 保守

別紙 1「詳細仕様書」のとおり。

8 環境により良い自動車利用

本契約の履行に当たって自動車を使用し、又は利用する場合は、次の事項を遵守すること。

(1) 都民の健康と安全を確保する環境に関する条例(平成 12 年東京都条例第 215 号) 第 37 条のディーゼル車規制に適合する自動車であること。

(2) 自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法（平成 4 年法律第 7 0 号）の対策地域内で登録可能な自動車であること。

なお、適合の確認のために、当該自動車の自動車検査証（車検証）、粒子状物質減少装置装着証明書等の提示又は写しの提出を求められた場合には、速やかに提示し、又は提出すること。

9 その他

- (1) 業務の遂行の際、直接又は間接に知り得た全ての情報を外部に漏らし、又は他の目的に利用してはならない。
- (2) 本仕様書の解釈に疑義が生じた事項については、本学担当者と協議を行うこと。

10 連絡先

東京都公立大学法人

東京都立産業技術大学院大学管理部

管理課 教務学生入試係 石坂

電 話 03-3472-7834 (代表)

F A X 03-3472-2790

別紙 1_詳細仕様書

システム構成 1 から 1 5 までに示す機器及びソフトウェアは、本件のすべての仕様及び構成・設置環境・規模を考慮し、過度にオーバースペックでは無いものとし、次の各項目を考慮して、一連のシステムとして、本学の教育研究（利活用・運用・メンテナンス等）を円滑に行うことができるものにする。

- 稼働率
- 処理速度（性能）
- 記憶容量
- 機能
- 使い勝手

（規模）

- 教職員約 100 名、学生約 370 名（在学生約 250 名、科目等履修生等約 120 名）
- 科目数は別紙 4「2021 年度 授業時間割」を参考とすること。

（その他留意事項）

- サブスクリプション型のサービスではないこと。また原則、アカウント数によって費用の増減が無いこと。
- Zoom や Google Meet などの WEB 会議ツールについては本学にて別途準備したものを利用すること。
- 本案件で導入するコラボレーションツール（画面共有機。詳細仕様書のとおり）の利用は、既存設置の教員 PC、学生 PC や BYOD 端末（教員の持ち込み PC 含む）でのアクセスを前提とし、有線及び無線環境を利用して各教室 33 台程度のデバイスが授業で同時に運用できる構成とすること。
- 本システム導入によって新たに発生する通信については既存ネットワークに負荷がかからないよう通信量を抑える構成とすること。
- 納入システム等のメーカー保守は原則 1 年とする。ただし、特定の物品については次頁以降のシステム構成に記載されているものを優先すること。
- 既設更改対象機器を取り外し、学内の指定場所まで運搬すること。
- 運用管理者が滞りなく管理業務を行えるよう、納入システム等に関して、運用管理者向けに説明会を 1 回以上実施すること。運用管理者からの質疑／要望に適宜対応すること。

システム構成

仕 様				備 考
No.	名 称	仕 様	数	
1	学生ブース	<p>以下の条件の学生ブースを提供し、351a 教室、354 教室、357 教室に設置すること。(1 教室 8 学生ブースを設置予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 下記機器仕様を満たす 4K パネル 65 インチ程度のタッチディスプレイを導入すること。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 4K 対応 65 型程度の液晶ディスプレイであること (2) 最大 10 点のマルチタッチに対応していること (3) ホワイトボード機能を搭載していること (4) コントラスト比 1200 : 1 であること (5) 15W 以上のスピーカーを内蔵していること (6) 質量は 40kg 程度以下であること (7) (1)のディスプレイは、移動型スタンド（中間棚付き）に設置すること。 <ol style="list-style-type: none"> (8) コラボレーションツールとの動作検証が取れていること (9) コラボレーションツール投影時に画面操作、アノテーションが行えること。 (10) タッチペンが付属していること。 (11) 3 年間のメーカーセンドバック保証（受付平日 9 : 00 ~ 17 : 00）が付属していること。 (12) AV 操作卓から電源のオン・オフができること。 ● コラボレーションツールを導入すること。詳細は No. 5 に記載の通りとする。 ● 学生ブースに設置するコラボレーションツール子機となるシステムは、学生デバイスやクラウドのデータを表示し、プレゼンテーションツールでグループワークをサポートする機能を搭載していること。また、Web カンファレンス機能を搭載し遠隔からのグループワーク参加ができること。以上の機能はスタンドアローンでも稼働できるものとし、親機との連携において、映像音声コンテンツの配信、受信機能を有すること。 ● コラボレーションツールに WEB カメラとマイクスピーカーを接続し、WEB 会議ソフト（Google meet、ZOOM）利用が行えること。 ● WEB カメラは下記機器仕様を満たすこと。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 200 万画素程度のフル HD 画質での撮影が可能な WEB カメラであること。 	24 式	

		<p>(2) ノートパソコン・デスクトップパソコンなどのディスプレイに取り付け可能であること。また、上下・左右に角度調節が可能であること</p> <p>(3) カメラ本体にマイクが内蔵されていること。</p> <p>(4) 画角は、水平 150°以上あること</p> <ul style="list-style-type: none"> ● マイクスピーカーは下記機器仕様を満たすこと。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 専用ドライバー不要で USB をパソコンなどとつなげば使用できる USB/Bluetooth 対応のスピーカーホンであること (2) 会議に不要な周囲の雑音を抑制する收音範囲制限機能を有すること (3) オープンスペースの会議参加者の発言状態を認識し、自動でマイクミュート・ミュート解除を行うマイク自動ミュート機能を有すること (4) 周囲の雑音の大きさに合わせて、スピーカー音量を常に適切なボリュームに調整するスピーカー音量自動調整機能を有すること (5) 收音範囲は、標準モードで 1.5m 程度／最大 3m 程度 (360°)、オープンスペースなど雑音が多いところで使用するモードで 1m 程度であること ● 1 教室あたり 8 式設置し、AV 操作卓映像や学生端末映像の表示・画面書き込みができること。 ● 入出力切替装置及び入出力制御装置と連携し、適切に映像を投影できること。また、必要な調整を含むこと。 ● 各ブースの表示映像を教室前面のタッチディスプレイ (No.9) にも投影できること。 ● 投影操作は教卓操作タブレット及びタッチパネルから行えること。 		
2	AV 操作卓	<p>以下の条件の AV 操作卓を提供し、351a 教室、354 教室、357 教室に設置すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 各教室 1 式設置し、共通仕様であること。 ● デザイン (材質、色彩、収納)、設置位置、向きについては本学担当者との協議の上、決定すること。 ● 下記外部入力端子を有する外部入力パネルを搭載すること。 <ul style="list-style-type: none"> (1) HDMI ポート×1 以上 (2) 1000BaseT LAN ポート×1 以上 (3) RGB 入力×1 以上 (4) VIDEO 入力×1 以上 	3 式	

		<ul style="list-style-type: none">(5) 音声入力×1以上(6) マイク入力×1以上(7) 電源コンセント×2以上 <ul style="list-style-type: none">● 学生ブースの映像のプレビュー用に利用する下記機器仕様を満たす 21 インチ程度のプレビューモニタを導入すること。<ul style="list-style-type: none">(1) パネルタイプは、TFT21.5 型程度のワイド LED であること(2) 視野角度は上下左右 170°以上あること(3) 最大表示解像度は、1920×1080 程度であること(4) 入力端子は、アナログ RGB、HDMI、DisplayPort であること(5) スピーカーの音声出力は 1W 以上あること● コラボレーションツールを導入すること。詳細は No. 5 に記載の通りとする。● 下記機器仕様を満たす BD/DVD プレーヤーを導入すること。<ul style="list-style-type: none">(1) フル HD 以上のアップコンバート機能を搭載していること(2) 再生対応ディスクは、BD-R、BD-R DL、BD-RE、BD-RE DL、DVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW、DVD-R DL、DVD+R DL、CD-R、CD-RW、USB メモリであること(3) HDMI 端子 1 系統以上搭載していること(4) 外形寸法は、幅 245mm×高さ 38.5mm×奥行 175mm 以下であること <p>下記機器仕様を満たす電源制御ユニットを搭載すること。</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 前面パネル、後面パネルともに全て 3P コンセントを採用した電源制御ユニットであること(2) 前面パネル、後面パネルともに非連動コンセント 2 口搭載していること(3) 動作時間(5 分または 5 秒)を設定できる 3 段階のシーケンス (遅延) 動作機能を搭載していること(4) 外部制御端子による外部からのコントロールができること(5) 非常信号入力時に電源供給を遮断する非常放送対応であること <p>下記機器仕様を満たす HDMI/USB 変換器を導入すること。</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 業務用 AV ソースやシステムをビデオ会議用ソフトウェアコーデックに統合するための HDMI - USB ブリッジであること(2) HDCP 準拠のループスルー付き HDMI 入力 1 系統を装備していること		
--	--	---	--	--

		<p>(3) 最大 1920×1200 解像度までのビデオ入力信号をスケーリングして USB で出力できること</p> <p>(4) オーディオ DSP を搭載していること</p> <p>(5) AEC リファレンス出力を有すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ● HD カメラを操作するカメラコントローラーを導入すること。 ● カメラコントローラーは下記機器仕様を満たすこと。 <ul style="list-style-type: none"> (1) ジョイスティックを使ってカメラのパン・チルト・ズーム操作が可能で、倒す角度によって、パン・チルトの速度が変わること (2) カメラのポジションなどの情報を 15 個以上カメラ内部のメモリに記憶させることができること (3) リモートカメラを制御可能であること ● 入出力制御装置、講義収録装置、コラボレーションツール、音響システム、タッチディスプレイ、その他変換及び分配機器等の AV 操作卓に収納する機器を一括で電源 ON,OFF 制御できると。 ● 教卓操作タブレットを使用し、電源 ON,OFF 制御ができること。なお教卓操作タブレットは 1 台で入出力制御装置の切替操作も行えること。 ● AV 操作卓に必要な機器以外は機器収納架に収納すること。 ● 既存で利用している教卓 PC を収納すること。必要な調整を含むこと。 ● 関連機器の入出力インターフェース変換が必要な場合、必要な機器を含むこと。 ● 幅 1500mm×奥行 750mm×高さ 800mm 程度にすること。 (現行 幅 1,600mm×奥行 700mm×高さ 700mm) ● 250mm 程度の足入を有すること。 ● 排熱を十分考慮すること。 ● 追加機器等を置くスペースを 3U 程度設けること。 ● 機器収納スペースは鍵付き扉による開閉ができること。 ● 調達機器のほか本学より支給する教員資料パソコンと配信パソコンの収納スペースを確保すること。 ● 卓内機器の接続・配線は行先表示などメンテナンスが行えるよう十分考慮した設置を行うこと。 		
3	入出力切替装置 入出力制御装置	以下の条件の入出力装置及び入出力制御装置を提供し、351a 教室、354 教室、357 教室に設置すること。	3 式	

		<ul style="list-style-type: none"> ● 各教室 1 式設置し共通仕様であること。 ● 各ソースの音声を音響システムに出力できること。 ● 出力画面は入力ソースの 2 ソースまで同時に表示できること。任意の学生ブース表示映像を教室前面のタッチディスプレイに表示が行えること。 ● 出力画面は教卓操作タブレット及びタッチパネルにより切替操作ができること。 ● 入出力制御装置は、専用のタッチパネル及び教卓操作タブレットの 2 デバイスから制御できること。 ● 専用のアプリケーションが必要な場合は準備の上インストールすること。 ● 入出力制御装置を操作するためのタッチパネルを導入すること。 ● HD カメラをリモート制御し、パン・チルト・ズーム等の調整が可能なこと。また、これらの値をカメラのプリセット値として保存し、呼び出すことができること。 		
4	教卓操作タブレット	<p>以下の条件のタブレット端末を提供し、351a 教室、354 教室、357 教室に設置すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 下記機器仕様を満たす教卓操作タブレットを導入すること <ul style="list-style-type: none"> (1) 10 型以上の Wi-Fi モデルであること (2) 解像度はフル HD (1920x1080) 程度に対応していること (3) 資料共有の操作ができること ● 入出力制御装置のソース切替、コラボレーション操作及び AV 操作卓内機器、タッチディスプレイの電源一括制御ができること。 ● 上記機器を制御するために専用のアプリケーションが必要な場合はインストールすること。 ● 各教室 1 台設置すること。必要な調整を行うこと。 ● 通信のため無線 AP (アクセスポイント) が別途必要となる場合は用意すること。 ● 無線 AP (アクセスポイント) を導入する場合は以下の機器仕様を満たすこと。 <ul style="list-style-type: none"> (1) LAN ポートは、1 ポート (10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T、ストレート/クロス自動判別) に対応していること (2) 「WPA3」を搭載し、高い強度を備えた 192 ビット暗号が利用可能であること (3) 同じ LAN 内の複数台の無線 LAN アクセスポイントを一括管理するための仮想コントローラーを内蔵し、追加、交換時に 	3 台	

		<p>は簡単に無線 LAN アクセスポイントの拡張やメンテナンスが行えること</p> <p>(4) 2.4GHz/5GHz 共用 無指向性アンテナ 2 本、 2.4GHz/5GHz 共用 指向性アンテナ 2 本合計 4 本を本体に内蔵していること</p> <p>(5) WPA/WPA2/WPA3 エンタープライズ規格に対応し、最大 1,000 件の無線端末を認証することが可能であること</p>		
5	<p>コラボレーションツール (画面共有機)</p>	<p>以下の条件のコラボレーションツールを提供し、351a 教室、354 教室、357 教室に設置すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 教員卓で設置する親機となるコラボレーションツールは、スイッチャーからの映像コンテンツを取り込み表示できること。 ● 教員デバイスをワイヤレスミラーリングで表示し、スクリーン上や遠隔講義用配信 PC へ教材を投影することができること。 ● コラボレーションツール子機との連携において、映像音声コンテンツの配信、受信機能を有すること。 ● コラボレーションツールでは、教員が提示する教材やコンテンツを設置されるすべての学生ブースに一齐配信および特定の学生ブースに個別配信できること。 ● すべての学生ブースの子機の映像を一齐プレビューおよび特定の学生ブースの映像個別プレビューできること。 ● 操作はタブレット等を使用し、ワイヤレスで室内のどこからでも操作できるものとし、ドラッグ＆ドロップで簡単に操作ができること。 ● AV 操作卓に教員用親機 1 台、子機 1 台、各学生ブースに子機 1 台ずつ計 8 台設置のこと (1 教室あたり親機 1 台、子機 9 台) ● コラボレーションツールは下記機器仕様を満たしていること。 <ul style="list-style-type: none"> (1) パソコンやスマホの画面を無線で接続し、ディスプレイに投影できるオールインワンプレゼンテーション & コラボレーションシステムであること (2) iOS、Android、Mac OS、WindowsOS に対応できること (3) 出力解像度は、HD 以上に対応していること (4) スクリーン上への最大同時表示デバイス数は 4 以上あること (5) Web カンファレンス機能を搭載していること (6) ローカルストリーミング機能を搭載していること 	3 式	

		<p>(7) 親機は HDMI 入力を 2 系統以上、HDMI 出力を 2 系統以上、子機は HDMI 入力を 1 系統以上、HDMI 出力を 1 系統以上搭載していること</p> <p>(8) USB ポートを 2 ポート以上搭載していること</p> <p>(9) 有線 LAN ポートを搭載していること</p> <p>(10) 802.11 ac/a/b/g/n に対応した無線 LAN インターフェースを搭載していること</p> <p>(11) セキュリティ暗号化規格の IEEE 802.1x(有線 LAN) および WEP、WPA2、WPA2 Enterprise or IEEE 802.1x(無線 LAN)に対応していること</p> <p>(12) タッチディスプレイと USB 接続をすることで、本体の操作が可能であること</p> <p>(13) 資料共有親機や資料共有子機のステーション間で映像や音声を送受信できること</p> <p>(14) スクリーン間のコンテンツ移動もシンプルなドラッグ&ドロップ操作でできること</p> <p>(15) ストリーミングの最大解像度は、1080p 以上であること</p> <p>(16) グループワークモード機能搭載のこと</p> <p>(17) グループステーションの電源 ON/OFF 機能が利用できること</p> <p>(18) 5 年間のメーカーセンドバック保証（受付平日 9：00～17：00）が付属していること。</p>		
6	講義収録装置	<p>以下の条件の講義収録装置を提供し、351a 教室、354 教室、357 教室に設置すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 各教室 1 台設置し必要な調整を行うこと。 ● 入出力制御装置から出力された映像を HD 画質 (1280×720)以上で収録できること。 ● ネットワーク経由で録画の開始、停止ができること。 ● 1 コマ 90 分程度の動画を 1 ファイルに録画できること。 ● 録画したデータをネットワーク経由で取得できること。 ● 録画したデータを外付け HDD にコピーできること。 ● 下記機器仕様を満たすこと。 <ul style="list-style-type: none"> (1) スタンドアロンで動作し、筐体のボタン操作で収録を開始/終了できること (2) 音声入力端子（RCA または 3.5mm ジャック等）を備えること。 (3) 最大 5 つの HD 映像が入力できること 	3 台	

		<p>(4) Web ブラウザで本体に直接アクセスでき、録画操作や収録コンテンツの取り出し操作ができること</p> <p>(5) 収録後の動画コンテンツを FTP で自動転送できること</p> <p>(6) ファイル作成と同時に RTMP/RTSP でのライブストリーミングができること</p> <p>(7) 17 種類以上の録画レイアウトパターンを持っており、9 種類のプリセットから選択可能なこと</p> <p>(8) 製品本体に HDD を搭載しており、1.5TB 以上の録画ファイルを記録可能なこと</p>		
7	書画カメラ	<p>以下の条件の書画カメラを提供し、351a 教室、354 教室、357 教室に設置すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 各教室の AV 操作卓に 1 台、学生ブース用（予備）に 2 台を提供すること。 ● 下記機器仕様を満たすこと。 <ul style="list-style-type: none"> (1) Miracast、バッテリー内蔵の書画カメラであること (2) 撮影素子は、1/3.2 インチ CMOS 800 万画素以上であること (3) 有効画素数は 3280 x 2464 程度以上で、デジタルズーム最大 16 倍以上対応していること (4) 撮像領域は、320mm x 430mm (高さ 320mm、画角 4:3)以上であること (5) 出力解像度は、下記に対応していること <ul style="list-style-type: none"> HDMI/RGB : 1080p、720p、UXGA、XGA USB : 1920x1080、1280x720、1600x1200、800x600、640x480 Miracast : 720p (6) 無線 LAN(WiFi)、有線 LAN を搭載していること 	9 台	
8	HD カメラ	<p>以下の講義収録カメラを提供し、351a 教室、354 教室、357 教室に設置すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 各教室 1 台天吊り設置すること。 ● 下記、機器仕様を満たすこと。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 水平画角 約 70° (ワイド端) の広角撮影が可能であること (2) 光学 12 倍レンズを搭載していること (3) 水平±170°最高速度 101°/秒 最低速度 0.5°/秒、垂直 +90 - -20 度 最高速度 91°/秒 最低速度 0.5°/秒のパン・チルト機能を搭載していること 	3 台	

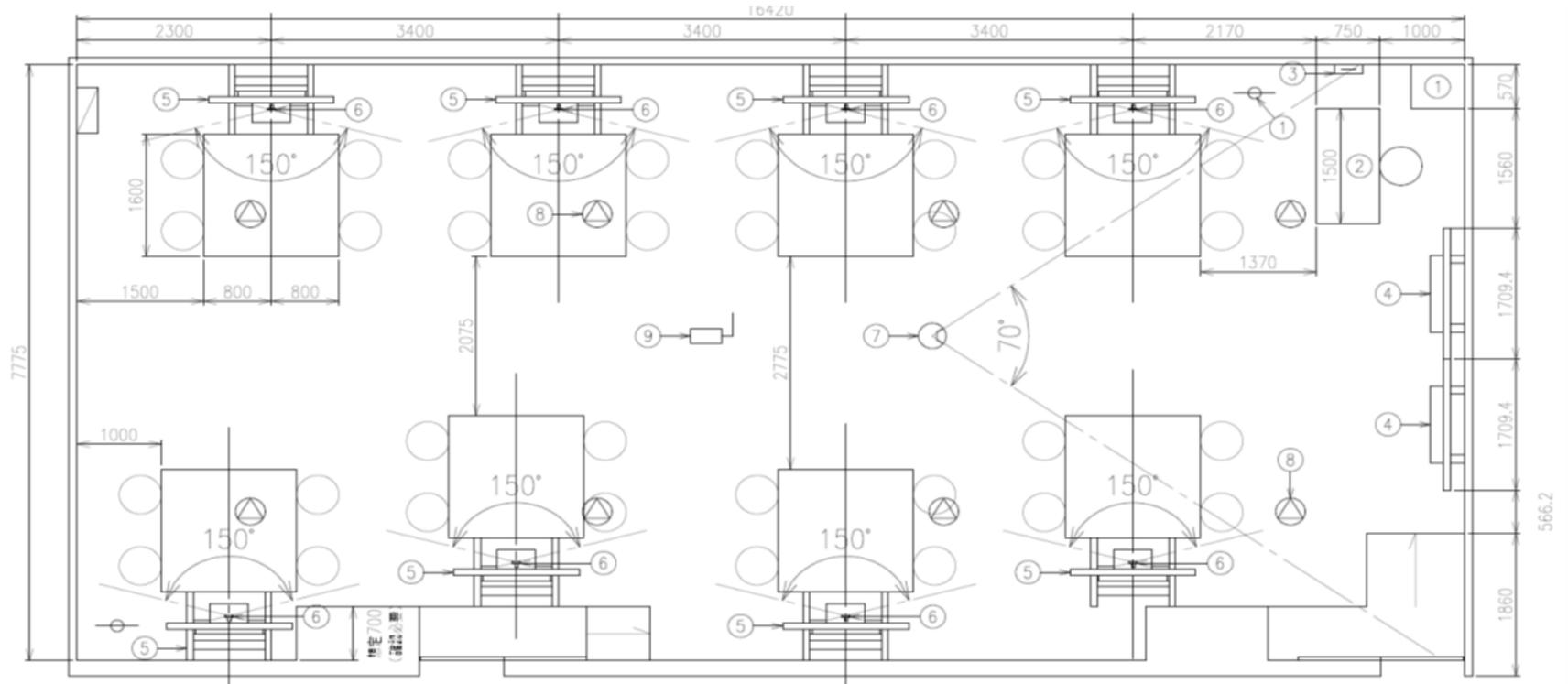
		<ul style="list-style-type: none"> 入出力制御装置との距離を考慮し、イーサネットで接続し映像を送信すること。 プリセット機能を有し、卓上カメラコントローラー、教卓操作タブレットから呼び出しが行えること。 WEB 会議の他講義収録にも利用するため、同時に複数の装置へ映像出力を行うこと。 収録画角は協議の上決定すること。 既設更改対象機器を学内の指定場所まで運搬すること。 補修が発生する際は見込むこと。 		
9	75 インチタッチディスプレイ	<p>以下の条件のタッチディスプレイを提供し、351a 教室、354 教室、357 教室に設置すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> 下記、機器仕様を満たすこと。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 4K 対応 75 型程度の液晶ディスプレイであること (2) 最大 10 点のマルチタッチに対応していること (3) ホワイトボード機能を搭載していること (4) コントラスト比 1100 : 1 であること (5) 15W 以上のスピーカーを内蔵していること (6) 質量は 55kg 程度以下であること 各教室 2 台を教室前方に設置すること。 壁寄せスタンドに設置しアンカー固定すること。 入出力制御装置からの映像をそれぞれ表示すること コラボレーションツール投影時に画面操作、アノテーションが行えること。 AV 操作卓から電源のオン・オフができること。 タッチペンが付属していること。 コラボレーションツールとの動作検証が取れていること ディスプレイと AV 入出力装置間の映像線・USB 制御線の延長による操作不具合が発生し無いようシステム構築に留意すること。 3 年間のメーカーセンドバック保証（受付平日 9 : 00 ~ 17 : 00）が付属していること。 	6 台	
10	音響システム	<p>以下の音響システムを提供し、351a 教室、354 教室、357 教室に設置すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> 音響システムとしてデジタルオーディオミキサーとパワーアンプを各教室 1 式設置すること。 デジタルオーディオミキサーは下記機器仕様を満たすこと。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 8 系統モノラルマイクラインと 8 系統アナログモノラル出力に対応していること 	3 式	

		<p>(2) デジタルネットワークオーディオ規格 Dante または YDIF に対応していること</p> <p>(3) 44.1kHz/48kHz で 16 in / 16 out 以上の入出力を搭載していること</p> <p>(4) プリセットメモリ数は 50 以上あること</p> <p>(5) シグナルディレイは、3.0ms (AD-DA @48kHz)以下であること</p> <p>(6) 出力チャンネル機能として、Room Delay, Room EQ, Speaker Processor, X-Over (1way, 2way), Delay, 6-band PEQ, Limiter を搭載していること</p> <ul style="list-style-type: none"> • パワーアンプは下記機器仕様を満たすこと。 <ul style="list-style-type: none"> (1) チャンネル数は 2ch 以上あること (2) チャンネル出力は 40W+40W (4/8Ω) であること (3) 消費電力は 25W 以下であること (4) 出力ごとにレベルコントロールつまみと高域/低域のトーンコントロールつまみを搭載していること • 教卓 PC、ワイヤレスマイク等の複数のソースをスピーカー一式から出力できること。 • スピーカーを小型化できるよう必要なアンプ機材を用意すること。 		
11	スピーカー	<p>以下のスピーカーを提供し、351a 教室、354 教室、357 教室に設置すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 下記、機器仕様を満たすこと。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 2 台 1 ペアであること (2) 2-Way フルレンジスピーカであること (3) 150°以上の広いカバレッジ角を持っていること (4) トランスタップ (100V 9W 仕様) であること (5) 周波数レンジは、85Hz～25kHz であること • 演習利用を目的とし埋め込み式で室内に均一な拡声ができること。 • 教室全体にソースの音が届くよう必要な台数用意すること。 • 既設品撤去に伴い補修が発生する際は見込むこと。 	3 式	
12	ワイヤレスマイク ワイヤレスチューナー	<p>以下のワイヤレスマイクを提供し、351a 教室、354 教室、357 教室に設置すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 各教室にデジタルワイヤレスマイクハンドタイプ 3 台、タイピンタイプ 1 台を用意すること。 • デジタルワイヤレスマイク (ハンドタイプ) は下記機器仕様を満たすこと 	3 式	

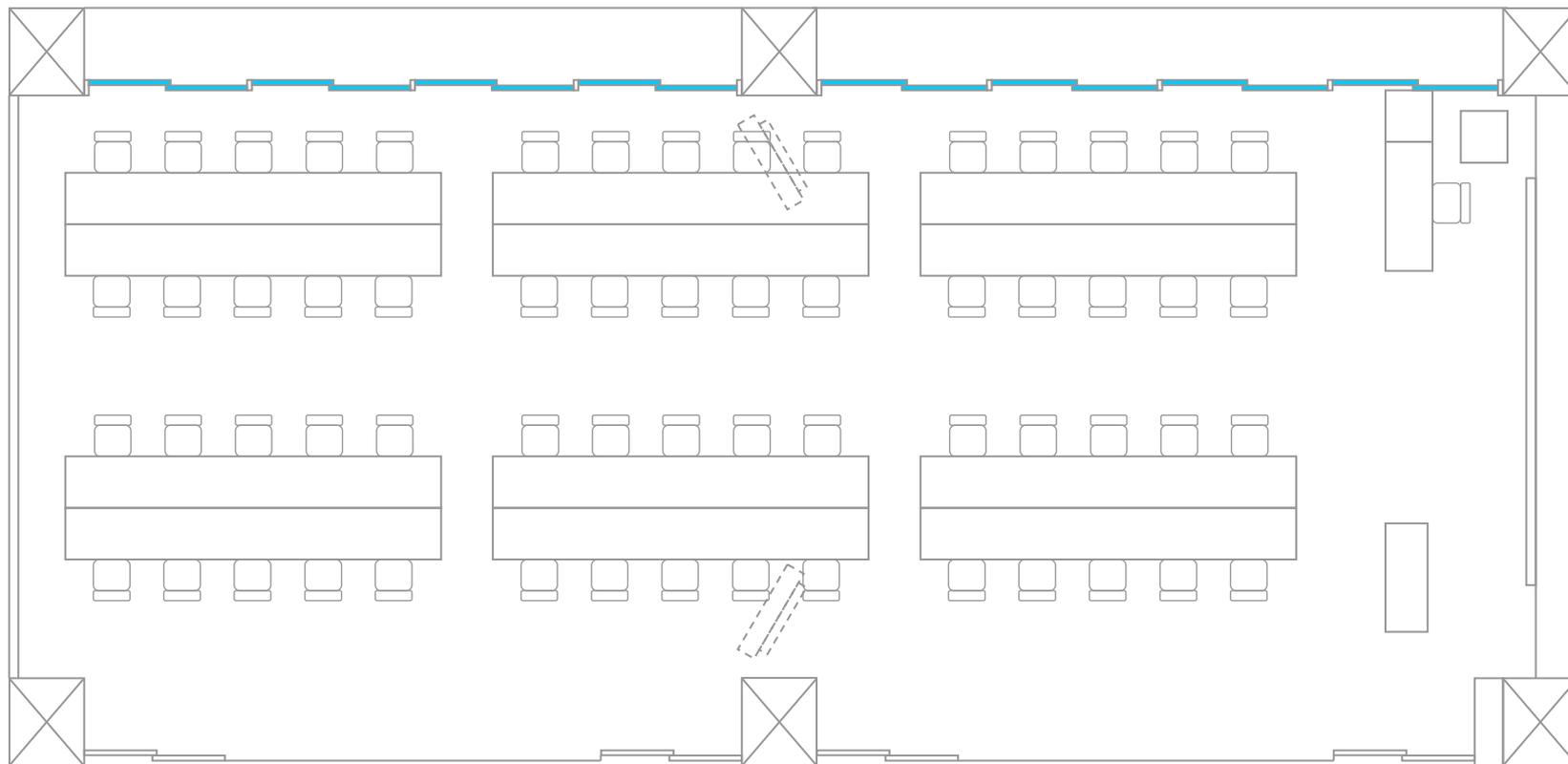
		<p>(1) 特定小電力無線局ラジオマイク（800MHz帯）の規格に適合したハンド型デジタルワイヤレスマイクであること</p> <p>(2) 電波形式は、F1E / F1Dであること</p> <p>(3) 送信周波数は、806.125～809.750 MHz（30波のうち1波）であること</p> <p>(4) アンテナ内蔵型であること</p> <p>(5) 単一指向性エレクトレットコンデンサー型であること</p> <p>(6) 専用充電電池使用で、5時間程度以上使用できること</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタルワイヤレスマイク(タイピンタイプ)は下記要件を満たすこと。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 特定小電力無線局ラジオマイク（800MHz帯）の規格に適合したツープース型デジタルワイヤレスマイクであること (2) 電波形式は、F1E / F1Dであること (3) 送信周波数は、806.125～809.750 MHz（30波のうち1波）であること (4) アンテナ内蔵型であること (5) 単一指向性バックエレクトレットコンデンサー型であること (6) 専用充電電池使用で、5時間程度以上使用できること 各教室充電器を必要な台数用意すること。 各教室ワイヤレスチューナーを必要な台数用意すること。 ワイヤレスチューナーは下記機器仕様を満たすこと。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 水晶制御PLLシンセサイザー方式による800MHz帯のデジタルワイヤレスチューナーであること (2) 受信感度は24dBμV以下（ビットエラーレート1E-5以下）であること (3) 混信やノイズに強いデジタル受信方式を採用していること (4) 周波数特性は50Hz～12kHzであること 既設品撤去に伴い補修が発生する際は見込むこと。 		
13	機器収納架	<p>以下の機器収納架を提供し、351a 教室、354 教室、357 教室に設置すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> EIA ラックマウントに対応していること。 扉付きであること。 放熱を考慮した設置を行うこと。 接続端子版を実装すること。 収納架を設置し、教員が直接触る必要のない機器を中心に収納すること。 設置はアンカー固定とすること。 メンテナンスが行えるよう十分考慮した設置を行うこと。 	3式	

		<ul style="list-style-type: none"> ● 収納架用のメンテナンスキーは 2 個以上用意すること。 ● 電源制御ユニットを搭載すること。 		
14	65 インチタッチディスプレイ	<p>以下 4K パネル 65 インチ程度のタッチディスプレイを提供し、137PBL、156PBL、286PBL 教室に設置すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 下記仕様を満たす 4K パネル 65 インチ程度のタッチディスプレイを提供すること。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 4K 対応 65 型程度の液晶ディスプレイであること (2) 最大 10 点のマルチタッチに対応していること (3) ホワイトボード機能を搭載していること (4) コントラスト比 1200 : 1 であること (5) 15W 以上のスピーカーを内蔵していること (6) 質量は 40kg 程度以下であること ● 移動型スタンド（中間棚付き）に設置すること。 ● コラボレーションツールと動作検証が取れていること ● タッチペンが付属していること。 ● 3 年間のメーカーセンドバック保証（受付平日 9 : 00～17 : 00）が付属していること。 	10 式	
15	その他付帯機器	<p>上記システムを導入するにあたり必要となる下記付帯機器類等について設計を実施した上で、適切な数量を含めること</p> <p>受信分配器 HDMI 送信分配器 HDMI 送信器 HDMI 受信器 制御用スイッチ HUB USB 送信器 アナログ送信器 電源タップ 増設ユニット・増設ボード PoE インジェクタ 等</p>	適宜	設計により適宜必要付帯機器を選定。

1. 351a(事業)講義室 レイアウト図

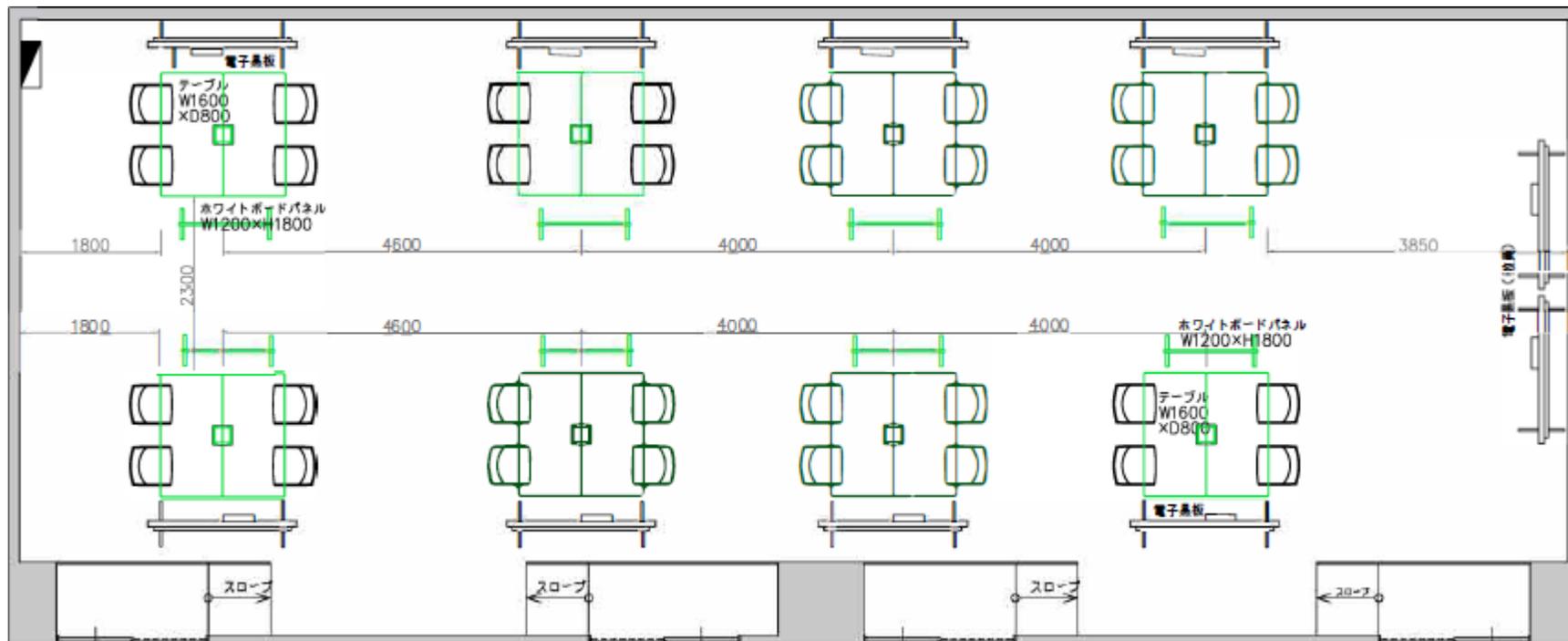


2. 354(創造)講義室 レイアウト図

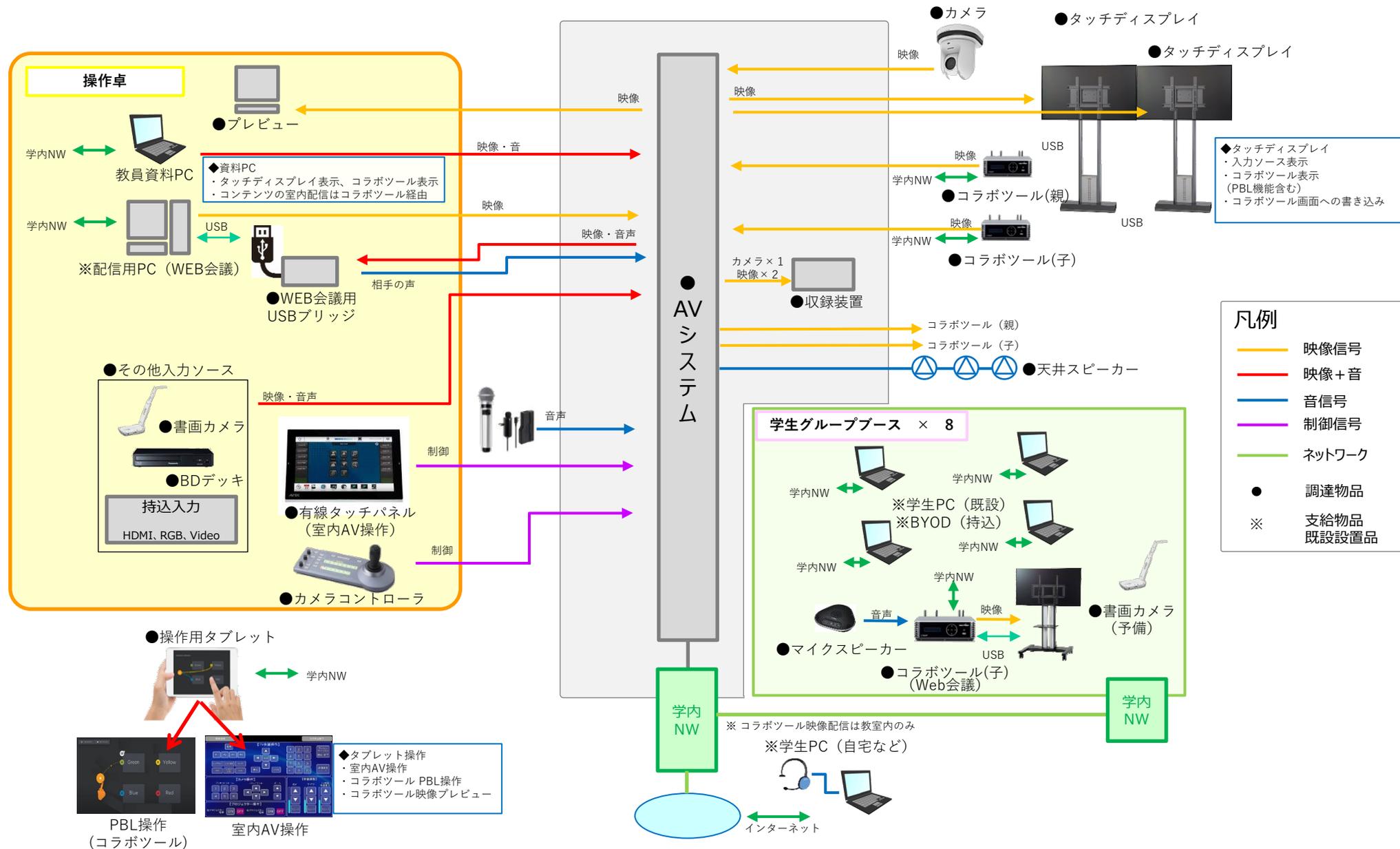


設置場所については本学と協議の上、決定すること

3. 357(情報)講義室 レイアウト図



別紙3 システム概要図



2021年度授業時間割 <1年次配当科目>

開講期		【第1クォータ】								
		情報アーキテクチャコース			創造技術コース			事業設計工学コース		
曜日	時限	授業科目名	担当者名	教室	授業科目名	担当者名	教室	授業科目名	担当者名	教室
月	6	情報セキュリティ特論	奥原 雅之	357	プロダクトデザイン特論	内山 純	354			
	7	ソフトウェア工学特論	追川 修一	357	プロトタイプ工学特論	近藤 嘉男*/内山 純	354			
火	6	コミュニケーション技術特論	中鉢 欣秀	357				事業方向性設計特論	廣瀬 雄大	351a
	7	プロジェクト管理特論1	三好 きよみ	357	設計工学特論	伊藤 潤	354	事業設計工学概論	全教員	351a
水	6	情報アーキテクチャ特論1	小山 裕司	357	デザイン表現実習	海老澤 伸樹*/和泉 秀明*	611			
					インテリジェントシステム特論	林 久志	354			
	7	Javaプログラミング技法	張 晁逢	357	デザイン表現実習	海老澤 伸樹*/和泉 秀明*	611	エマージング・イノベーション特論	吉田 敏	351a
					データサイエンス特論	橋本 洋志/大久保 友幸	354			
木	6	情報セキュリティ特論	奥原 雅之	357	プロダクトデザイン特論	内山 純	354			
	7	ソフトウェア工学特論	追川 修一	357	プロトタイプ工学特論	近藤 嘉男*/内山 純	354			
金	6	コミュニケーション技術特論	中鉢 欣秀	357				事業方向性設計特論	廣瀬 雄大	351a
	7	プロジェクト管理特論1	三好 きよみ	357	設計工学特論	伊藤 潤	354	事業設計工学概論	全教員	351a
土	1	技術倫理	伏見 靖*/川田 誠一	354	技術倫理	伏見 靖*/川田 誠一	354	技術倫理	伏見 靖*/川田 誠一	354
		情報アーキテクチャ特論1	小山 裕司	357						
	2	技術倫理	伏見 靖*/川田 誠一	354	技術倫理	伏見 靖*/川田 誠一	354	技術倫理	伏見 靖*/川田 誠一	354
		Javaプログラミング技法	張 晁逢	357						
	3	フレームワーク開発特論	安川 要平*	357	インテリジェントシステム特論	林 久志	354	エマージング・イノベーション特論	吉田 敏	351a
4	フレームワーク開発特論	安川 要平*	357	データサイエンス特論	橋本 洋志/大久保 友幸	354	会計・ファイナンス工学特論	三好 祐輔	351a	
5	サービスサイエンス特論	松尾 徳朗	351a				サービスサイエンス特論	松尾 徳朗	351a	

□ : 1コマ分は録画ビデオを視聴 * : 非常勤講師

※各回の授業形態及び遠隔授業の有無は、各科目のシラバス及び掲示版を必ず確認してください。

<各時限の授業時間>

1限	9:00~10:30	5限	16:30~18:00
2限	10:40~12:10	6限	18:30~20:00
3限	13:00~14:30	7限	20:10~21:40
4限	14:45~16:15		

<各クォータの開講期間>

第1クォータ	4月5日(月)~6月5日(土)
	【5月3日(月・祝)~5月5日(水・祝)を除く】
	※4月29日(木・祝)授業実施

2021年度授業時間割 <1年次配当科目>

開講期		【第2クォータ】								
		情報アーキテクチャコース			創造技術コース			事業設計工学コース		
曜日	時限	授業科目名	担当者名	教室	授業科目名	担当者名	教室	授業科目名	担当者名	教室
月	6				組込みシステム特論	村越 英樹	354			
	7	情報セキュリティ特別講義1	奥原 雅之	357	デザインマネジメント特論	海老澤 伸樹*	354			
火	6	データベース特論	木下 修司	357	創造設計特論	越水 重臣	354	エマージング・テクノロジー特論	廣瀬 雄大	351a
	7	プロジェクト管理特別講義	三好 きよみ	357	人間中心デザイン特論	伊藤 潤	354	製品開発組織特論	吉田 敏	351a
水	6	情報アーキテクチャ特論3	中鉢 欣秀	357	AIデザイン特論	林 久志	354	意思決定サイエンス特論	細田 貴明	351a
	7	システムソフトウェア特論	柴田 淳司	357						
木	6				組込みシステム特論	村越 英樹	354	マネジメントシステム基礎特論	板倉 宏昭	351a
	7	情報セキュリティ特別講義1	奥原 雅之	357	デザインマネジメント特論	海老澤 伸樹*	354	マネジメントシステム基礎特論	板倉 宏昭	351a
金	6	データベース特論	木下 修司	357	創造設計特論	越水 重臣	354	エマージング・テクノロジー特論	廣瀬 雄大	351a
	7	プロジェクト管理特別講義	三好 きよみ	357	人間中心デザイン特論	伊藤 潤	354	製品開発組織特論	吉田 敏	351a
土	1	システムプログラミング特論	小山 裕司	357	造形デザイン特別演習	内山 純/和泉 秀明*	354	意思決定サイエンス特論	細田 貴明	351a
	2	情報アーキテクチャ特論2	戸沢 義夫*	357	造形デザイン特別演習	内山 純/和泉 秀明*	354	市場創造技術特論	松尾 徳朗	351a
	3	標準化と知財戦略	成田 雅彦*	357	価値デザイン特論	國澤 好衛*	354			
		ネットワークシステム特別講義	飛田 博章	255						
	4	標準化と知財戦略	成田 雅彦*	357	AIデザイン特論	林 久志	354	リーダーシップ特論	嶋津 恵子	351a
ネットワークシステム特別講義		飛田 博章	255	グローバルコミュニケーション特論	前田 充浩	611				
5	システムソフトウェア特論	柴田 淳司	357	グローバルコミュニケーション特論	前田 充浩	611	リーダーシップ特論	嶋津 恵子	351a	

□ : 1コマ分は録画ビデオを視聴 * : 非常勤講師

※各回の授業形態及び遠隔授業の有無は、各科目のシラバス及び掲示板を必ず確認してください。

<各時限の授業時間>

1限	9:00~10:30	5限	16:30~18:00
2限	10:40~12:10	6限	18:30~20:00
3限	13:00~14:30	7限	20:10~21:40
4限	14:45~16:15		

<各クォータの開講期間>

第2クォータ	6月7日(月)~8月7日(土) 【7月22日(木・祝)~7月23日(金・祝)を除く】
--------	---

2021年度授業時間割 <1年次配当科目>

開講期		【第3クォータ】								
		情報アーキテクチャコース			創造技術コース			事業設計工学コース		
曜日	時限	授業科目名	担当者名	教室	授業科目名	担当者名	教室	授業科目名	担当者名	教室
月	6	Technical Writing in English	嶋津 恵子	351a	Technical Writing in English	嶋津 恵子	351a	Technical Writing in English	嶋津 恵子	351a
		OSS特論	小山 裕司	357	工業デザイン材料特論	内山 純	354			
	情報ビジネス特別講義2	小酒井 正和*	611							
	7	セキュアプログラミング特論	黄 緒平	357	機械学習特論	林 久志	354	事業方向性設計演習	廣瀬 雄大	351a
情報ビジネス特別講義2		小酒井 正和*	611							
火	6	IT・CIO特論	コース担当教員	357	信頼性工学特論	越水 重臣	354			
	7	IT・CIO特論	コース担当教員	357	コミュニケーションデザイン特論	海老澤 伸樹*/河西 大介	354	ネットワーク事業設計特論	細田 貴明	351a
水	5				システムインテグレーション特論	橋本 洋志	354			
	6	クラウドインフラ構築特論	山崎 泰宏*	255	ET(Embedded Technology)特別演習	村越 英樹	354			
	7	クラウドインフラ構築特論	山崎 泰宏*	255	ET(Embedded Technology)特別演習	村越 英樹	354	スタートアップ戦略特論	板倉 宏昭	351a
木	6	Technical Writing in English	嶋津 恵子	351a	Technical Writing in English	嶋津 恵子	351a	Technical Writing in English	嶋津 恵子	351a
		OSS特論	小山 裕司	357	工業デザイン材料特論	内山 純	354			
	7	セキュアプログラミング特論	黄 緒平	357	機械学習特論	林 久志	354	事業方向性設計演習	廣瀬 雄大	351a
金	6	クラウドサーバ構築特論	飛田 博章	357	信頼性工学特論	越水 重臣	354			
		情報ビジネス特別講義1	六川 浩明*	611						
	7	クラウドサーバ構築特論	飛田 博章	357	コミュニケーションデザイン特論	海老澤 伸樹*/河西 大介	354	ネットワーク事業設計特論	細田 貴明	351a
		情報ビジネス特別講義1	六川 浩明*	611						
土	1							統計・数理計量ファイナンス特別演習	三好 祐輔	351a
	2	プロジェクト管理特論2	酒森 潔*	357				統計・数理計量ファイナンス特別演習	三好 祐輔	351a
	3	データインテリジェンス特論	追川 修一	357	システムインテグレーション特論	橋本 洋志	354	技術経営戦略特論	吉田 敏	351a
	4	国際開発特論	前田 充浩	611	国際開発特論	前田 充浩	611	国際開発特論	前田 充浩	611
		アジャイル開発手法特論	細澤 あゆみ*	357	プロダクトデザイン特別演習	國澤 好衛*/村田 桂太*	354			
	5	国際開発特論	前田 充浩	611	国際開発特論	前田 充浩	611	国際開発特論	前田 充浩	611
アジャイル開発手法特論		細澤 あゆみ*	357	プロダクトデザイン特別演習	國澤 好衛*/村田 桂太*	354				

 : 1コマ分は録画ビデオを視聴 * : 非常勤講師

※各回の授業形態及び遠隔授業の有無は、各科目のシラバス及び掲示版を必ず確認してください。

<各時限の授業時間>

1限	9:00~10:30	5限	16:30~18:00
2限	10:40~12:10	6限	18:30~20:00
3限	13:00~14:30	7限	20:10~21:40
4限	14:45~16:15		

<各クォータの開講期間>

第3クォータ	10月2日(土)~11月30日(火) ※11月3日(水・祝)、11月23日(火・祝) 授業実施
--------	--

2021年度授業時間割 <1年次配当科目>

開講期		【第4クォータ】								
		情報アーキテクチャコース			創造技術コース			事業設計工学コース		
曜日	時限	授業科目名	担当者名	教室	授業科目名	担当者名	教室	授業科目名	担当者名	教室
月	6	ビッグデータ解析特論	追川 修一	357	システムモデリング特論	村越 英樹	354			
	7	DESIGN [RE] THINKING	松井 実	354	DESIGN [RE] THINKING	松井 実	354	DESIGN [RE] THINKING	松井 実	354
		情報セキュリティ特別講義2	奥原 雅之	357						
火	6	プロジェクト管理特論3	三好 きよみ	357	サービス工学特論	橋本 洋志	354	マネジメントシステム応用特論	板倉 宏昭	351a
	7	コラボレイティブ開発特論	中鉢 欣秀	357	品質工学特論	越水 重臣	354	マネジメントシステム応用特論	板倉 宏昭	351a
水	6	情報システム特論1	嶋津 恵子	357	チーム設計・試作特別演習	伊藤 潤	354			
		ネットワーク特論	大崎 理乃	255						
	7				チーム設計・試作特別演習	伊藤 潤	354			
木	6	ビッグデータ解析特論	追川 修一	357	システムモデリング特論	村越 英樹	354			
	7	DESIGN [RE] THINKING	松井 実	354	DESIGN [RE] THINKING	松井 実	354	DESIGN [RE] THINKING	松井 実	354
		情報セキュリティ特別講義2	奥原 雅之	357						
金	6	プロジェクト管理特論3	三好 きよみ	357	サービス工学特論	橋本 洋志	354			
	7	コラボレイティブ開発特論	中鉢 欣秀	357	品質工学特論	越水 重臣	354			
土	1	情報技術者倫理	稲垣 実*	357	情報技術者倫理	稲垣 実*	357	情報技術者倫理	稲垣 実*	357
	2	IoT開発特論	飛田 博章	357	デジタルデザイン実習	村田 桂太*	354	事業継続戦略特論	松尾 徳朗	351a
	3	情報システム特論1	嶋津 恵子	357	デジタルデザイン実習	村田 桂太*	354	イノベティブサービス技術特論	細田 貴明	351a
		ネットワーク特論	大崎 理乃	255						
	4	国際経営特論	前田 充浩	611	国際経営特論	前田 充浩	611	国際経営特論	前田 充浩	611
		セキュアシステム管理運用特論	真鍋 敬士*	357	データサイエンス特別演習	浅野*/小畑*/宮津*	354	地域経済分析特別演習	三好 祐輔	351a
		情報ビジネス特別講義3	川名 周*	265						
	5	国際経営特論	前田 充浩	611	国際経営特論	前田 充浩	611	国際経営特論	前田 充浩	611
		セキュアシステム管理運用特論	真鍋 敬士*	357	データサイエンス特別演習	浅野*/小畑*/宮津*	354	地域経済分析特別演習	三好 祐輔	351a
	情報ビジネス特別講義3	川名 周*	265							

：1コマ分は録画ビデオを視聴 *：非常勤講師

※各回の授業形態及び遠隔授業の有無は、各科目のシラバス及び掲示板を必ず確認してください。

【集中講義】

実施予定	授業科目名	担当者名	教室
4Q	情報システム特論2	戸沢 義夫*/亀井 省吾*	286/351a

<各時限の授業時間>

1限	9:00~10:30	5限	16:30~18:00
2限	10:40~12:10	6限	18:30~20:00
3限	13:00~14:30	7限	20:10~21:40
4限	14:45~16:15		

<各クォータの開講期間>

第4クォータ	12月1日(水)~2月3日(木) 【12月29日(水)~1月3日(月)を除く】 ※1月10日(月・祝) 授業実施
--------	--

2021年度 東京都立産業技術大学院大学 学年暦

年	月	日	曜日	行 事 名
2021	4	1	木	履修申請期間【第1・2クォータ（～4月4日（日）まで）】
		3	土	春季入学式、ガイダンス
		5	月	第1クォータ開始 履修修正期間【第1・2クォータ（～4月10日（土）まで）】
		29	木	昭和の日 ※授業実施
	5	3	月	休業期間（～5月5日（水）まで）
		6	木	授業開始
	6	5	土	第1クォータ終了
		7	月	第2クォータ開始 履修修正期間【第2クォータ（～6月12日（土）まで）】
			22	火
	7	22	木	海の日
		23	金	スポーツの日
	8	7	土	第2クォータ終了
		9	月	夏季休業期間（～9月30日（木）まで）
		24	火	第2クォータ成績開示（PBL以外）
	9	18	土	秋季学位授与式
	10	1	金	秋季入学式、ガイダンス
			土	履修申請期間【第3・4クォータ】 履修修正期間【第3・4クォータ（～10月8日（金）まで）】
	11	3	水	文化の日 ※授業実施
		23	火	勤労感謝の日 ※授業実施
		30	火	第3クォータ終了
	12	1	水	第4クォータ開始 履修修正期間【第4クォータ（～12月7日（火）まで）】
			17	金
		29	水	冬季休業期間（～1月3日（月）まで）
	2022	1	4	火
10			月	成人の日 ※授業実施
2		3	木	第4クォータ終了
		4	金	春季休業期間（～4月初旬まで）
		11	金	AIIT PBLプロジェクト成果発表会
		21	月	第4クォータ成績開示
3		19	土	春季学位授与式

※日程が変更になる場合は、ポータル掲示板等でお知らせします。

<各クォータの開講期間は以下のとおりです。>	
第1クォータ	4月5日（月）～6月5日（土） 【5月3日（月・祝）～5月5日（水・祝）を除く】 ※4月29日（木・祝）授業実施
第2クォータ	6月7日（月）～8月7日（土） 【7月22日（木・祝）～7月23日（金・祝）を除く】
第3クォータ	10月2日（土）～11月30日（火） ※11月3日（水・祝）、11月23日（火・祝）授業実施
第4クォータ	12月1日（水）～2月3日（木） 【12月29日（水）～1月3日（月）を除く】 ※1月10日（月・祝）授業実施

2021年度 東京都立産業技術大学院大学 授業カレンダー

- 予備日は、補講を実施します。補講の日程は、決まり次第、ポータルサイトの掲示等でお知らせします。
- 白色は授業期間。
- 灰色は休業日または休業期間
- 黄色は祝日

2021年 4月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
						入学式
				1・2Q履修申請期間		
4	5	6	7	8	9	10
	1Q	1Q	1Q	1Q	1Q	1Q
	1・2Q履修修正期間					
11	12	13	14	15	16	17
	1Q	1Q	1Q	1Q	1Q	1Q
18	19	20	21	22	23	24
	1Q	1Q	1Q	1Q	1Q	1Q
25	26	27	28	29	30	
	1Q	1Q	1Q	1Q	1Q	

5月

日	月	火	水	木	金	土
						1
						1Q
2	3	4	5	6	7	8
				1Q	1Q	1Q
9	10	11	12	13	14	15
	1Q	1Q	1Q	1Q	1Q	1Q
16	17	18	19	20	21	22
	1Q	1Q	1Q	1Q	1Q	1Q
23	24	25	26	27	28	29
	1Q	1Q	1Q	1Q	1Q	1Q
30	31					
	1Q					

6月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
		1Q	1Q	予備日	予備日	予備日
6	7	8	9	10	11	12
	2Q	2Q	2Q	2Q	2Q	2Q
	2Q履修修正期間					
13	14	15	16	17	18	19
	2Q	2Q	2Q	2Q	2Q	2Q
20	21	22	23	24	25	26
	2Q	2Q	2Q	2Q	2Q	2Q
27	28	29	30			
	2Q	2Q	2Q			

7月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
				2Q	2Q	2Q
4	5	6	7	8	9	10
	2Q	2Q	2Q	2Q	2Q	2Q
11	12	13	14	15	16	17
	2Q	2Q	2Q	2Q	2Q	2Q
18	19	20	21	22	23	24
	2Q	2Q	2Q			2Q
25	26	27	28	29	30	31
	2Q	2Q	2Q	2Q	2Q	2Q

8月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
	予備日	予備日	予備日	2Q	2Q	予備日
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

9月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
						学位授与式
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

10月

日	月	火	水	木	金	土
					1 入学式	2 3Q
					3-4Q履修中間期間	
3	4 3Q	5 3Q	6 3Q	7 3Q	8 3Q	9 3Q
3-4Q履修修正期間						
10	11 3Q	12 3Q	13 3Q	14 3Q	15 3Q	16 3Q
17	18 3Q	19 3Q	20 3Q	21 3Q	22 3Q	23 3Q
24	25 3Q	26 3Q	27 3Q	28 3Q	29 3Q	30 3Q
31						

11月

日	月	火	水	木	金	土
	1 3Q	2 3Q	3 3Q	4 3Q	5 3Q	6 3Q
7	8 3Q	9 3Q	10 3Q	11 3Q	12 3Q	13 3Q
14	15 3Q	16 3Q	17 3Q	18 3Q	19 3Q	20 3Q
21	22 3Q	23 3Q	24 3Q	25 3Q	26 3Q	27 予備日
28	29 予備日	30 予備日				

12月

日	月	火	水	木	金	土
			1 4Q	2 4Q	3 4Q	4 4Q
			4Q履修修正期間			
5	6 4Q	7 4Q	8 4Q	9 4Q	10 4Q	11 4Q
12	13 4Q	14 4Q	15 4Q	16 4Q	17 4Q	18 4Q
19	20 4Q	21 4Q	22 4Q	23 4Q	24 4Q	25 4Q
26	27 4Q	28 4Q	29	30	31	

2022年 1月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4 4Q	5 4Q	6 4Q	7 4Q	8 4Q
9	10 4Q	11 4Q	12 4Q	13 4Q	14 4Q	15 4Q
16	17 4Q	18 4Q	19 4Q	20 4Q	21 4Q	22 4Q
23	24 4Q	25 4Q	26 4Q	27 4Q	28 4Q	29 4Q
30	31 4Q					

2月

日	月	火	水	木	金	土
		1 予備日	2 予備日	3 予備日	4	5
6	7	8	9	10	11	12
					PBL発表会	
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

3月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
						学位授与式
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		